

とちぎ義博 議会レポート

第11号 2001年夏号

発行者:福岡市議会議員 栃木義博

〒814-0001 福岡市早良区百道浜1-3-13-305

TEL.845-7669 FAX.845-8511

E-mail:tochigi@bronze.ocn.ne.jp



暑中お見舞 申し上げます

福岡市議会で、栃木義博が行った質問の一部を紹介いたします。スペースの都合上、限られた内容しか掲載できず残念です。ご意見や質問は、はがきやメールのほか、毎週月曜日午前7時15分から1時間半、西新脇山口交差点での辻立ちで続けている市民との直接対話の時間にお寄せください。

4月・6月の 議会質問から

現職局長の逮捕にいたる筈松第4ポンプ場建設の入札予定価格の漏洩に端を発した贈賄事件を契機に、入札制度改革に向けて福岡市議会に公共工事不正再発防止等調査特別委員会が設置されました。4月20日の初総会で代表質問しました。また、6月14日の定例会議で公民館のIT化についても質問しました。

談合防止と入札制度の 抜本改革を

栃木 今回の入札制度改革の成否は、どのような基準で評価するのですか。

福岡市 入札制度改革は、談合の再発防止が目的。また、透明性や競争性が高められた結果、落札率(予定価格に対する落札価格の割合%)が下がることも制度改革の評価として、ひとつの分かりやすい指標であると考えます。

栃木 落札率を下げるには、公正取引委員会の積極活用がポイントでは。本市は今回の制度改正で、独占禁止法違反の疑いがある事案については積極的に公取委に通知するとしています。過去の事例ではどのような効果がありましたか。

知した事案が2件あるが、造園業の落札率が5~6ポイント低下した。これによって公取委との連携強化への道が拓かれたと考える。

栃木 予定価格の元になる設計額が実勢価格より高く設定されているのではないかと業者の思惑が、談合を繰り返す誘惑に駆られ、入札価格を吊り上げる構造的な土壌を形成しているのではありませんか。執行部の考えを質します。

福岡市 国、県、市が協力して実態を調査し決定しているため、地域の実勢を反映した設計額になっていると考えるが、さらに適正な価格設定やコスト削減に努める。(答弁=一丸財政局長)

すべての公民館に パソコン配備

栃木 公民館を使った住民対象のIT講座



のために購入する468台のパソコンを講座終了後の来年度には全市の公民館に分配しますが、IT時代の公民館の新たな役割について考えを質します。

学習情報の検索サービスめざす

福岡市 公民館職員のパソコン技能習得のために研修を実施し、その状況を見ながらその後のサポート態勢を考える。住民のインターネットによる学習情報検索の求めに対応できる地域の情報拠点をめざす。(答弁=生田教育長)



盛況でした「浜風のつどい」 支援者の皆様に改めてお礼申し上げます

支援者の皆さんとの絆を固める政治パーティー「とちぎ義博・浜風のつどい」を6月3日、シーサイドももちのホテルで開きました。

栃木義博は「暮らし重視、未来に大きな借金を残さない市政、クルマに依存しない交通まちづくりに力を尽くします」と挨拶。松本龍・民主党福岡県連代表の「一年生議員とは思えない力強さ」とのエールや、特別ゲストで政治学者、福岡政行さん(白鷗大学教授)の「持ち前の積極性で頑張れ」との激励に力づけられました。

この後、栃木義博と同じマンションに住むミスター・モリックこと森永雅俊さんによるマジックショーもあり、和やかな中にも熱気にあふれた一日となりました。

ご支援、ご参加いただいた皆様に心からお礼を申し上げ、ご期待を裏切らないよう、全力で市政に取り組むことを改めてご報告いたします。

地方から国を元世

栃木 小泉人気に引きずられて自民党の支持率もあがっていますが、小泉政権誕生の意味をどのようにお考えですか。

藪野 自民党と言うよりあくまでも小泉支持だと。小泉効果というのは、政党のアイデンティティが薄い時代と、若者が政党を迂回し、NPOやNGOなど直接活動している状況に対して、極めて明確なメッセージヤーである役回りを与えましたよ。国民が関心をもって政治を語り始め、ワイドショーが政治化



藪野祐三さん

今回は、TVの選挙報道番組で解説をされている藪野祐三さん(九州大学教授)がゲスト。政治の世界もこれまでとは違った景色に見えてきました。大きな意味で「心のお洒落」を忘れた政治家は、政党再編成も政治改革も期待できないのではないかと、いった藪野さんの客観的な視点を交え、日本の政治をどう見るかについて大いに語っていただきました。

シリーズ「一緒に話そう」 小泉政権を検証する

残務整理内閣に改革期限を迫れー藪野



国民が政治を語り始めた

栃木 小泉内閣の性格をどのように分析されますか。

藪野 小泉政権は残務整理内閣ですね。残務整理を終えるまでは小泉のスタンスで行って、そこから地方分権。民主党の出番はそれからだと思いますよ。過去10年間の

し始めた。この意味が大きいですね。

藪野 それは、はつきりメッセージすべきですよ。ハイリスク・ハイリターン、高福祉・高負担、低福祉・低負担のどれを選択するのかわからないことをね。

栃木 やはり改革には、年金、医療など社会保障の安心システムが必要ですね。安心システムを入れるのだったら、財源を確保しないとけない。それが改革の手順だと思えます。やはり改革の具体像を明確にすべきでしょう。

ツケの決算を仕切る内閣として舵取りを間違わないよう、国民的視野から協力できるものは協力していく必要があると言メッセージでいいのじゃないでしょうか。

栃木 私たちが国民のためにも残務整理内閣の改革期限を迫り、進行管理することで、小泉内閣の性格を明確にしていくべきだということですね。

では、誰のための何の改革なのでしょう。改革の旨みだけでなく、痛みを示すべきではないですか。

藪野 改革のタイムスケジューリングを明確に区切れば成功するけど、時間的な問題です。国民の期待に早くも遅く遅くもないスピードで進んでいければね。

栃木 民主党は二大政党としての役割を位置づけ直すことができるのでしょうか。

藪野 民主党があたかも実体として自民党と対抗しているように思うと無理があります。党の問題ではなく自分ごとであるべきかを考えるべきです。民主党は自民党に対して不明確な改革の期限を問うべきだし、市民的利益の明確化を図っていくことが必要です。また、市民を代表するとは言うものの、一体誰の代表なのかをはっきりさせるべきです。

栃木 誰の利益を代表するのは、政党そのものの存立の問題です。政党再編成を視野に入れてもう一度再確認すべきですね。



政治は心のお洒落から

政治は心のお洒落から

栃木 小泉内閣の改革は成功するでしょうか。ズバリ、小泉政権の行方は、

藪野 改革のタイムスケジューリングを明確に区切れば成功するけど、時間的な問題です。国民の期待に早くも遅く遅くもないスピードで進んでいければね。

栃木 民主党は二大政党としての役割を位置づけ直すことができるのでしょうか。

藪野 民主党があたかも実体として自民党と対抗しているように思うと無理があります。党の問題ではなく自分ごとであるべきかを考えるべきです。民主党は自民党に対して不明確な改革の期限を問うべきだし、市民的利益の明確化を図っていくことが必要です。また、市民を代表するとは言うものの、一体誰の代表なのかをはっきりさせるべきです。

栃木 誰の利益を代表するのは、政党そのものの存立の問題です。政党再編成を視野に入れてもう一度再確認すべきですね。

改革に必要な安心システムの構築をー栃木

参加者募集! 英国スタディツアー 〈商店街の新たな役割を発見する〉

このところ郊外には大型ショッピング店などが進出して週末ともなれば家族連れのマイカーが押し寄せる賑わいぶりです。いっぽうで、私たちの生活の周辺には長年におわたって商店街が生き続けています。しかし、私たちはその商店街に物の売り買いにとどまらない地域社会にとっての大切な役割を見落としてきたのかも知れません。

コミュニティセンターとしての役割や豊かな高齢社会を支える役割など、消費者や市民の視点から商店街の新たな役割や魅力づくりを英国諸都市の実験例に学ぶ「商店街再生」の学習旅行です。



期間 8月21日(火)~30日(木) 10日間
視察地 ①「ショップ・ストリートの商店街づくり実験 (ロンドン近郊ギブズ地区)
②住民参加による商店街の歩行者空間づくり(ロンドン近郊ハム地区)
③街並み保全による商業地の再開発(マンチェスター地区)など
費用 ひとり40万円(食費を除く)
主催 福岡の都市づくりと交通を考える会(代表:福岡久大九州大学大学院教授)
申込み 8月7日(火)までに事務局へ。(845-7669または711-4736、栃木まで)

福岡独自のアジア外交

藪野 自治体と地方議会は、国ができない「お洒落」をつくることですよ。福岡の自治体ができること、何をしたいのか。福岡なら」とも、個性を語って語らざるべきです。

栃木 国を経由しない、国ができない自治体のアジア外交ですね。お洒落ということでは、やはり具体的なアイデアを出し合っていくというのには非常に重要です。

藪野 お洒落って美学ですよ。

栃木 心のお洒落を磨いて、市民の皆さんに明確なメッセージを語る政治家を目指したいと思えます。ありがとうございます。

藪野 心のお洒落を磨いて、市民の皆さんに明確なメッセージを語る政治家を目指したいと思えます。ありがとうございます。

よう。我慢するというのもお洒落。地下鉄に乗るときに無理に人を割らない。席を奪い合わない。こういったことも全部、心のお洒落なのですよ。

藪野祐三さん/1946年生まれ、九州大学法学部教授。専門は現代政治学。趣味はジョギング、テニス。